

北陸地方整備局 飯豊山系砂防事務所
資料配付

発表日	平成25年 7月17日
取 扱	本資料配付をもって解禁

平成24年度完成 優良工事等事務所長表彰式のお知らせ

優良工事等の表彰は、北陸地方整備局所管の工事等に関し、その施工及び成果が特に優秀であって、他の模範となるものを選定し、表彰することにより、良質な社会資本整備を目指すとともに、建設技術の向上と建設事業の推進に役立てることを目的としています。

飯豊山系砂防事務所では、優良工事等の事務所長表彰式を以下のとおり行います。

優良工事等事務所長表彰式

- 日 時：平成25年7月19日(金) 10:30～11:30
- 場 所：飯豊山系砂防事務所 2階 会議室

飯豊山系砂防事務所所管の優良工事等

◆優良建設技術者部門【工事】(事務所長表彰)

請負者名：株式会社 富樫組
技術者名：太田 貴博
工 事 名：奥ノ院砂防堰堤工事

◆優良工事部門(局長表彰披露)

請負者名：株式会社 富樫組
工 事 名：奥ノ院砂防堰堤工事

◆優良委託業務部門(局長表彰披露)

請負者名：応用地質株式会社新潟支店
業 務 名：管内自然環境調査業務


同時発表記者クラブ
・山形県政記者クラブ
・新潟県政記者クラブ

問い合わせ先
電話：0238-62-2566(代表)
副 所 長 (技 術) 川村修蔵
工 務 課 長 酒井 優
<http://www.hrr.mlit.go.jp/iide/>

平成24年度完成 優良建設技術者(工事)[事務所長表彰]

技術者	太田 貴博 (現場代理人) (監理技術者)	事務所名	飯豊山系砂防事務所
		工事名	奥ノ院砂防堰堤工事
		工事場所	新潟県新発田市菅谷地先
	株式会社 富樫組 代表取締役 富樫 重晴 新潟県村上市仲間町一枚下り639番地11	工期	平成24年 3月10日 ～ 平成25年 3月25日
		請負金額	117,495千円
工事内容	<p>砂防堰堤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本堤(堤長63.3m 堤高6.0m) 垂直壁(壁長47.75m 壁高2.5m) 1)砂防土工1式(掘削3,600m³、埋戻し785m³、コマ型基礎工429m²) 2)コンクリート堰堤工1式(本体1656m³、垂直壁284m³、側壁71m³、水叩110m³) 3)砂防えん堤付属物設置工1式(境界工一式、銘板工一式、点検施設工一式) 4)仮設工1式(工事用道路工一式、仮水路工一式、暗渠排水工一式、地下排水工一式) 		
現場における役職	監理技術者 現場代理人		
選定理由	<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は土石流危険渓流に指定されている、加治川水系奥ノ院沢における砂防堰堤工事である。 ・施工箇所周辺には、公園、老人ホーム、コミュニティバスセンター等があることから、公園の草刈り支援、老人ホームへの工事車両運行のチラシ配布、バス運転手との車両運行打ち合わせなど、地域と調和を取りながら、第三者災害防止に努め無事故で工事を実施した。 ・施工箇所の河床部は腐植土層が1.2mと厚く堆積し、地下水位も高く軟弱地盤箇所である。また下流集落では井戸水を生活用水としている家庭が多数あり、施工にあたっての工夫として、暗渠排水による地下水の排除及び簡易井戸ポンプ排水による地下水の低下対策を実施し、下流集落の井戸利用に影響を与えることなく、安全に工事を実施した。 ・施工施設の基礎構造は当初、採石置換工となっていたが、地下水位が高く、土質も軟弱で施工は難しい状況にあることから、掘削深さを浅くするため、砂防堰堤の基礎工法としては初のトップベース工法(コマ型基礎工法)を活用することとなった。新工法の施工にあたっては、慎重な締め固めと沈下計測など施工管理を的確に行うなど、効果的な基礎処理により砂防堰堤を完成させた。 ・寒中コンクリートの養生温度管理にデータロガーを使用し、リアルタイムに外気温度、仮囲い内温度、コンクリート内部温度を測定管理したことで、凍害やクラックが発生することなく工事を実施した。 ・本工事の実施にあたり、工程管理、施工管理を適正に行い、優れた管理能力を発揮し、無事故・無災害で工事を終えたことは、他の模範となるものである。 		
			

平成24年度完成 優良工事〔局長表彰〕

受注者	株式会社 富樫組	事務所名	飯豊山系砂防事務所
	代表取締役 富樫 重晴	工期	平成24年3月10日 ～ 平成25年3月25日
	新潟県村上市仲間町一枚下り639番地 11	請負金額	117,495千円
工事名	奥ノ院砂防堰堤工事	工事場所	新潟県新発田市菅谷地先
工事内容	<p>砂防堰堤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本堤(堤長63.3m 堤高6.0m) 垂直壁(壁長47.75m 壁高2.5m) 1)砂防土工1式(掘削3,600m³、埋戻し785m³、コマ型基礎工429m²) 2)コンクリート堰堤工1式(本体1,660m³、垂直壁284m³、側壁71m³、水叩110m³) 3)砂防えん堤付属物設置工1式(境界工一式、銘板工一式、点検施設工一式) 4)仮設工1式(工事用道路工一式、仮水路工一式、暗渠排水工一式、地下排水工一式) 		
選定理由	<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は土石流危険渓流の加治川水系奥ノ院沢における砂防堰堤工事である。 ・施工箇所の河床部は腐植土層が1.2mと厚く堆積し、地下水位も高く軟弱地盤箇所である。また下流集落では井戸水を生活用水としている家庭が多数あり、施工にあたっての工夫として、暗渠排水による地下水の排除及び簡易井戸ポンプ排水による地下水の低下対策を実施し、下流集落の井戸利用に影響を与えることなく、安全に工事を実施した。 ・施工施設の基礎構造は当初、採石置換工となっていたが、地下水位が高く、土質も軟弱で施工は難しい状況にあることから、掘削深さを浅くするため、砂防堰堤の基礎工法としては初のトップベース工法(コマ型基礎工法)を活用することとなった。新工法の施工にあたっては、慎重な締め固めと沈下計測等、施工管理を的確に行うなど、効果的な基礎処理により砂防堰堤を完成させた。 ・寒中コンクリートの養生温度管理にデータロガーを使用し、リアルタイムに外気温度、仮囲い内温度、コンクリート内部温度を測定管理したことで、凍害やクラックがが発生することなく工事を実施した。 ・本工事は、厳しい現場条件の中、適切な工程管理、施工管理の工夫のもと新工法に取り組み、また集落の生活用水に支障もなく、出来高、品質とも優れた施工を行った。 		
			

平成24年度完成 優良委託業務〔局長表彰〕

受注者	応用地質 株式会社 新潟支店	事務所名	飯豊山系砂防事務所
	支店長 大曾根 啓介	業務名	管内自然環境調査業務
	新潟県新潟市東区紫竹7丁目27番35号	工期	平成24年7月11日 ～ 平成25年1月31日
		請負金額	20,317.5 千円
選定理由	<p>本業務は、砂防工事を予定又は完了した箇所について、溪流環境基礎調査及び猛禽類調査を実施し、工事による影響予測及び保全対策を検討するものであるが、調査箇所が管内全域と広域に分布するとともに、調査項目も多岐にわたるものであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 猛禽類調査では、全ての調査箇所でサシバの営巣が当初より予想されたが、サシバの幼鳥は7月下旬には移動能力が高くなり、調査実施が遅れると営巣地の絞り込みが困難になることが予想されたが、迅速に調査計画を策定、現地調査を7月中旬に実施し、良好な成果を得た。また、その他の調査項目についても調査地が広域であり大変であったが、時期を逃さず適切に調査を実施し良好な成果を得た。 ・ 影響予測調査実施方針の検討では、平成3年度～23年度までに実施された自然環境調査で確認された重要な種を抽出し、調査地域間の類似度を求め、重要な種の出現状況や対象地域の物理特性も踏まえ検討を行った結果、各地域の特性に応じ、管内を4調査地域に分類(分割)する成果を得ることが出来た。この成果により今後はそれぞれの地域において効率的かつ的確な調査対象種を抽出することが可能となり、調査の合理化が図られることとなる。 		